

再ダイヤルの記憶を電話帳に登録する（子機）

子機では再ダイヤルに記憶した電話番号を電話帳に登録することができます。

子機の再ダイヤルの記憶から子機の電話帳に登録する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

手順	操作	表示	説明
1	を押す	0312345678	●最後にかけた相手の方を表示します。
2	または で登録する電話番号を選んだあと、機能 を押す	ナマエ？ カナ	
3	名前を入れる（最大12文字）（38〜39、42〜43ページ）	イケダ サトシ カナ	●名前の入力を省略するときは手順４へ進みます。
4	機能 を押す	ノコリ 95	●「ピー」と鳴り、残りの登録可能件数を表示して登録を完了します。

お知らせ

●親機の再ダイヤルの記憶を電話帳に登録することはできません。

通話内容や伝言メモを録音する（親機）

親機では伝言を録音したり、通話中の大切な用件をメモ代わりに録音することができます。すべての録音を合わせて、30件まで最大約12分間録音できます。

親機で通話を録音する

1 通話中に
再生/録音 ◯ **を押す**

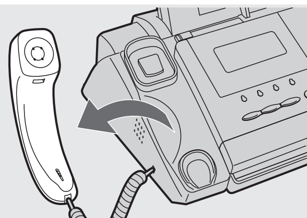
ツウワ　ロクオン中
ACR

2 **録音をやめるときは**
停止 **を押す**

●録音が終わると、時刻と件数が自動的に録音され留守ボタンが点滅します。
（タイムスタンプ機能）

親機で伝言メモを録音する

1 **受話器を取る**



2 再生/録音 ◯ **を押して、**
受話器で伝言を話す



3 **話し終わったら、**
停止 **を押して受話器を置く**

●録音が終わると、時刻と件数が自動的に録音され留守ボタンが点滅します。
（タイムスタンプ機能）

■ **録音内容を再生するときは（108～109ページ）**

■ **録音内容を消去するときは（110ページ）**

お知らせ

- 子機では通話や伝言メモを録音することはできません。
- ファクスのメモリー受信データやＥメールデータがあると録音できる時間が少なくなります。
- 内線通話中やドアホン通話中は、通話録音できません。



モーニングコールを使う（子機）

子機で、モーニングコールを設定することができます。「ピッ・ピッ…」とアラーム音が鳴って、お知らせします。（約5分間隔で7回くり返し）

子機でモーニングコールを設定する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）**を押す**

ヨウケンサイセイ

2 （▲）**または**（▼）**で「アラームセッテイ」を選んだあと、**（機能）**を押す**

▶ON OFF

3 （▶）**または**（◀）**で「ON」を選んだあと、**（機能）**を押す**

00:00

4 アラーム時刻をダイヤルボタンで入力する（24時間制で4ケタ入力します）

07:00

●すでに設定している時刻を変更するときは、（▶）または（◀）で変更する時刻にカーソルを移動し、新しい時刻を入力します。

5 （機能）**を押す**

07:00 ⏰

●⏰マークが表示されます。

途中でやめるとき
切ボタンを押す

■ モーニングコールの音を途中で止めるときは
モーニングコールのアラーム音が鳴っているときに子機のいずれかのボタンを押すと、アラーム音はいったん止まります。（充電器に戻したり、取り上げたりしても止まります。）このあと約5分後には再びアラーム音が鳴り始めます。

■モーニングコールを解除／もう一度設定する時は
①機能ボタンを押す
②（▲）または（▼）で「アラームセッテイ」を選んだあと、機能ボタンを押す
③（▶）または（◀）で「OFF」を選んだあと、機能ボタンを押す

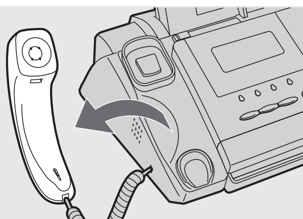
お知らせ
●子機の時刻が正しく合っていないと、モーニングコール設定を行っても正しい時刻にアラーム音は鳴りません。子機の時刻を合わせてから、モーニングコールを設定してください。
●アラーム音は、子機で設定した呼び出し音量と同じ大きさで鳴ります。

プッシュホンのサービスを利用する

ダイヤル回線をお使いの場合でもトーンボタンを押すと、プッシュ回線と同じトーン信号（ピッ、ポッ、パッ）を出すことができますので、交通機関の予約や銀行の残高照合などのプッシュホンサービスを利用できます。

親機でプッシュホンサービスを使う（ダイヤル回線ご利用時）

1 受話器を取る



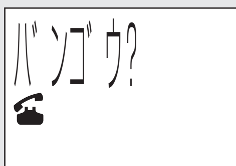
2 各種サービスにダイヤルする

3 トーン を押す

- このあとアナウンスにしたがって操作します。
- これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。
- 電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

子機でプッシュホンサービスを使う（ダイヤル回線ご利用時）

1 通話 を押す



- 子機を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。

2 各種サービスにダイヤルする

3 トーン を押す

- このあとアナウンスにしたがって操作します。
- これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。
- 電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

■ トーン信号とは

プッシュホン回線（トーン）で電話をかけるときの「ピッ、ポッ、パッ」という音のことです。
ダイヤル回線でご契約されている方でも、トーンボタンを押すと、このトーン信号を出すことができます。

お知らせ

- サービスの種類によっては、トーンボタンを使っても受けられないものがありますので、詳しくは各サービスの提供先に確かめてください。
- 子機でトーンボタンを使ってサービスを受ける場合、トーン信号をうまく受け付けないサービスもあります。このときは、親機を利用してください。



自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー）

子機では、電話がかかってきたときの呼出音メロディーを自分で作成することができます。（着メロ作曲機能）
作成したメロディーは、子機の呼出音としてお使いいただけます。

■入力できる音の高さ
次の高さの音が入力できます。（3オクターブの範囲です。半音も使えます。）

ド　ド#　レ　レ#　ミ　ファ　ファ#　ソ　ソ#　ラ　ラ#　シ　ド　ド#　レ　レ#　ミ　ファ　ファ#　ソ　ソ#　ラ　ラ#　シ　ド　ド#　レ　レ#　ミ　ファ　ファ#　ソ　ソ#　ラ　ラ#　シ

低音（1オクターブ下）
（入力画面では、「L」が表示されます。）

中音（標準）
（入力画面では、「M」が表示されます。）

高音（1オクターブ上）
（入力画面では、「H」が表示されます。）

■入力できる音符・休符
次の音符や休符が入力できます。

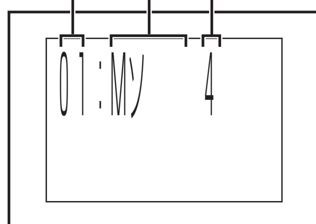
ディスプレイ表示	音符	休符	長さ	ディスプレイ表示	音符	休符	長さ
1	𝅝	𝄻	全音符（休符）	4.	♩.	𝄽.	付点4分音符（休符）
16	𝅘𝅥𝅯	𝄿	16分音符（休符）	2	𝅗𝅥	𝄼	2分音符（休符）
16.	𝅘𝅥𝅯.	𝄿.	付点16分音符（休符）	2.	𝅗𝅥.	𝄼.	付点2分音符（休符）
8	♪	𝄾	8分音符（休符）	16_3	16分3連符	—	16分3連符
8.	♪.	𝄾.	付点8分音符（休符）	8_3	8分3連符	—	8分3連符
4	♩	𝄽	4分音符（休符）	4_3	4分3連符	—	4分3連符

■入力画面のしくみ

音の高さ
●中音は「M」、高音は「H」、低音は「L」が表示されます。
●半音高い音は、「♯」が表示されます。
（半音低い「♭」の表示はありません。）
●休符は、「・・・・」が表示されます。
●スラーは、「ーーー>」が表示されます。

音番号

音符や休符の種類
●音符や休符の長さが表示されます。



自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー）

呼出音を作る操作です。



オリジナル（自作）メロディーを作る



通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）**を押す**

ヨウケンサイセイ

2 （▲）**または**（▼）**で「メロディトウロク」を選んだあと、**（機能）**を押す**

テンポ　120

3 ダイヤルボタンでテンポを入力する（40～190）

テンポ　150

●はじめは120になっています。（数値が大きい方がテンポが速くなります。）
●（▲）または（▼）で、テンポを調整することもできます。このときは4テンポ間隔となります。
●（►）または（◄）でカーソルを動かせます。
●メロディーの入力画面になります。

4 （機能）**を押す**

01:____ _

5 ダイヤルボタンでメロディーを入力する

（例）中音「ソ」4分音符

01:Mソ　4

●121ページのメロディーの入力方法を参照して、メロディーを入力してください。

6 次の音を入力するときは（▼）**を押す**

●音符や休符の種類を指定したあとや1つ前の音とちがうボタンで音の高さや休符を指定するときは、この操作は必要ありません。

次ページへ→

→つづき

7 手順 5 ～ 6 をくり返して、すべてのメロディーを入力する（最大60音）

●メロディーを途中で確認するときや、テンポを修正するときは、カナ／キャッチボタンを押すと、入力したところまでのメロディーが確認できます。
また、メロディーの確認中に ▲ または ▼ で、テンポを変更することができます。
●メロディーを修正するときは、▲ または ▼ で、修正したい音を表示させたあと、クリアボタンを押します。

8 すべてのメロディーを入力したら
機能 を押す

トウロク

●作り終わったオリジナルメロディーをすぐに変更するときは、このあと ▲ または ▼ で、「ヘンコウ」を選んだあと、機能ボタンを押すと、手順 3 に戻ります。

9 または で「トウロク」を選んだあと、機能 を押す

トウロクシマシタ

●このあと、待機画面に戻ります。

■ **作ったメロディーを利用するときは**
「子機の呼出音の種類を変える」（33ページ）の手順 3 でオリジナルメロディーを選びます。

■ **オリジナルメロディーを消去するときは**
①機能ボタンを押す
② ▲ または ▼ で「メロディショウキョ」を選ぶ
③機能ボタンを押す
④もう一度、機能ボタンを押す

お知らせ
●登録中に電話がかかってくると、入力中のメロディーは、登録されません。はじめからやり直してください。
●操作の途中で 1 分以上何もしないでおくと、待機画面に戻ります。このときは、はじめからやり直してください。

自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー）

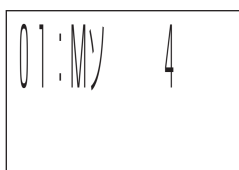
メロディーを入力するには、ダイヤルボタンを使って、音の高さ（ド～シ）や休符、音の長さを入力します。各ダイヤルボタンには音の高さ（ド～シ）や休符、音の長さを入力できるように割り当てられています。ボタンを押すごとに、入力が切り替わります。（入力割り当て表122ページ）

音の高さや休符を指定する

メロディーの入力画面にしたあと、ダイヤルボタンで入力します。

●ボタンを1回押すと、中音で4分音符が指定されます。
　同じボタンをくり返し押すと、同じ音で半音や1オクターブ上または下の音が入力できます。

（例）中音「ソ」 4分音符



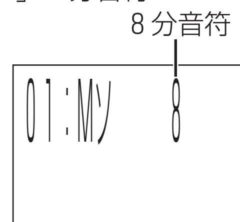
9（ラ WXYZ）／ ＊（トーン）／ ＃ は、音符や休符を選んでいるときのみ有効となります。

音符や休符の種類を指定する

＊（トーン） または ＃ をくり返し押し、音符や休符の種類を指定します。

●休符の場合も、音符の指定と同様になります。

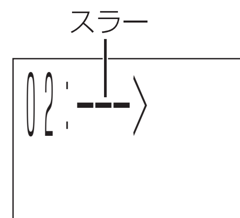
（例）中音「ソ」 8分音符



音をのばすとき（スラーの指定）

音符を選んだあと、8（ヤ TUV）を押します。

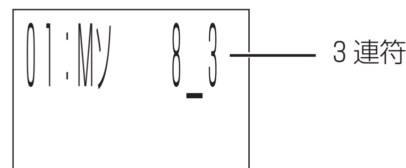
●「―――>」が表示されます。
　次の音となめらかにつながるようになります。



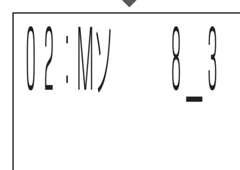
符点付きの音符や3連符にするとき

音符を選んだあと、9（ラ WXYZ）を押し付点や3連符を指定します。

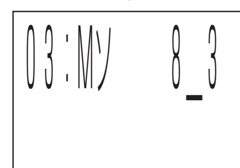
（例）中音「ソ」の8分の3連符（♫）の場合3連符を指定した「ソ」を3つ入力します。



↓



↓



■入力割り当て表

押すボタン	音階	表示（M：中音／H：高音／L低音／＃：半音）
1	ド	Mド → Mド# → Hド → Hド# → Lド → Lド#（→Mドに戻る）
2	レ	Mレ → Mレ# → Hレ → Hレ# → Lレ → Lレ#（→Mレに戻る）
3	ミ	Mミ → Hミ → Lミ（→Mミに戻る）
4	ファ	Mファ→Mファ#→Hファ→Hファ#→Lファ→Lファ#（→Mファに戻る）
5	ソ	Mソ → Mソ# → Hソ → Hソ# → Lソ → Lソ#（→Mソに戻る）
6	ラ	Mラ → Mラ# → Hラ → Hラ# → Lラ → Lラ#（→Mラに戻る）
7	シ	Mシ → Hシ → Lシ（→Mシに戻る）
8		ーーー＞（スラー） → （スラーなし）（→戻る）
9		※1 .（付点） → ※2 __3（3連符） → （なし）（→戻る）
0	休符	・・・・
＊		8（8分音符／休符） → 16（16分音符／休符） → 1（全音符／休符） → 2（2分音符／休符） → 4（4分音符／休符）（→8に戻る）
#		2（2分音符／休符） → 1（全音符／休符） → 16（16分音符／休符） → 8（8分音符／休符） → 4（4分音符／休符）（→2に戻る）

※1 付点は、2分音符（2分休符）、4分音符（4分休符）、8分音符（8分休符）、16分音符（16分休符）にのみ有効です。
※2 3連符は、4分音符（4分休符）、8分音符（8分休符）、16分音符（16分休符）にのみ有効です。

メロディーを入力中に次のボタンを使って、メロディーの確認や変更ができます。

押すボタン	機　能
内線/クリア 保留	<短く押す>選択中の1音を削除 <2秒以上押す>全音削除
カナ/キャッチ	メロディー確認
▲ または ▼	音符スクロール（メロディー確認中はテンポが変更されます。）

お知らせ

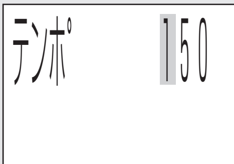
- 「ミ」または「シ」は、半音上げることはできません。
- 「♯：シャープ」は、音を半音上げます。「♭：フラット」は、半音下げます。「♭」にするときは、1つ下の音階を入力したあと、半音上げてください。

オリジナルメロディーを変更する

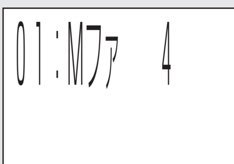
通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 「オリジナル（自作）メロディーを作る」（119～120ページ）の手順1～2を行う



2 ダイヤルボタンでテンポを変更したあと、機能を押す



- ▲または▼で、テンポを調整することもできます。（最小40から最大190まで、4テンポ間隔）
- ►または◄でカーソルを動かせます。
- メロディー変更画面になります。

3 ▲または▼で変更したい音を選ぶ

4 音を変更する

音符や休符を変更するとき

音長を変更する ▶ ＊（トーン）または＃

付点や3連符を変更する ▶ 9

- 音の高さを変えたり、音符を休符、休符を音符に変更することはできません。いったん消去したあと、正しい音符や休符を追加してください。

音符または休符を追加するとき

音を追加する ▶ 1～7

休符を追加する ▶ 0

- 選んだ音の前に、新しい音が追加されます。
- すでに60音入力されているときは、追加できません。

音符または休符を消去するとき

保留（内線/クリア）を押す（短く押す）

- 選んだ音の1音が消去されます。
スラー付きの音を消去すると、スラーも消去されます。
- クリアボタンを2秒以上押し続けると、すべての音が消去されます。

5 変更が終わったら 機能 を押す

6 ▲または▼で「トウロク」を選んだあと、機能を押す



- このあと、待機画面に戻ります。



登　録　例

次の曲を登録する場合のボタン操作を示します。（例：メヌエット　バッハ作曲より）

♩=110 ＜ テンポ

音番号

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32

オリジナル（自作）メロディーを作る（119〜120ページ）の手順４〜７の操作で下記のようにダイヤルボタンを押すと上の曲が入力できます。（×数字は、ボタンを押す回数です。⇩は同じ音が続くので ▼ を押してから次の音符を入力することを表しています。）

1 2 ×3	2 5、＊	3 6、＊	4 7、＊	5 1 ×3、＊	6 2 ×3	7 5 ⇩
8 5	9 3 ×2	10 1 ×3、＊	11 2 ×3、＊	12 3 ×2、＊	13 4 ×4、＊	14 5 ×3 ⇩
15 5 ⇩	16 5	17 1 ×3	18 2 ×3、＊	19 1 ×3、＊	20 7、＊	21 6、＊
22 7	23 1 ×3、＊	24 7、＊	25 6、＊	26 5、＊	27 6	28 7、＊
29 6、＊	30 5、＊	31 4 ×2、＊	32 5、#、9	機能 を２回押してメロディーを登録します。		

外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）

外出先から録音されたメッセージを聞いたり、その他のリモート操作をしたりすることができます。
リモート操作をするには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。

暗証番号を登録する

受話器を置いたまま操作します。

1 登録/取消 5ナJKL 1ア@.:_ 2カABC と**押す**

<アンショウ バ゛ンゴ゛ウ>
1：トウロク 2：クリア
ACR

2 1ア@.:_ **を押す**

<アンショウ バ゛ンゴ゛ウ>
NO. = （4ケタ）
ACR

3 **暗証番号を入れる（4ケタ）**

<アンショウ バ゛ンゴ゛ウ>
NO. =1234 （4ケタ）
ACR

●番号を押しまちがえたときは、取消ボタンを押して、もう一度入れ直します。

4 スタート **を押す**

トウロク シマシタ
ACR

5 停止 **を押す**

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

■ 登録した暗証番号を消すときは

①登録ボタンと5ナJKL 1ア@.:_ 2カABC 2カABCを押す
②スタートボタンを押す
③停止ボタンを押す

■ 暗証番号を変えるときは

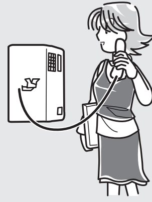
もう一度暗証番号を登録（上書き）します。

■ 暗証番号を忘れたときは

忘れた暗証番号の確認はできません。新しい暗証番号を登録（上書き）します。録音内容は消えません。

外出先から一般録音をリモート操作する

1 **自宅に電話をかける**



●ダイヤル回線の電話機からリモート操作するときは、ダイヤルしたあとにトーン信号に切り替えます。（トーン信号の切り替えかたは、電話機の取扱説明書をごらんください。）

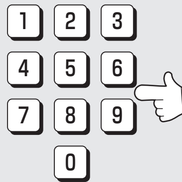
2 **応答メッセージが聞こえている間に**

[#] を押す



●[#]を押すと流れている応答メッセージが止まります。このあと「暗証番号とシャープを押してください。」と聞こえます。聞こえないときは、もう一度[#]を押してください。

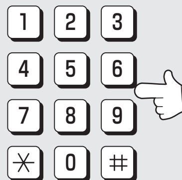
3 **暗証番号（4ケタ）を押す**



4 **[#] を押す**



5 音声メッセージを聞いたあと
リモート操作番号を押す



（例）録音内容を聞くときは、
[1][#] と押します。

6 リモート操作が終わったら
電話を切る



■ **リモート操作表**

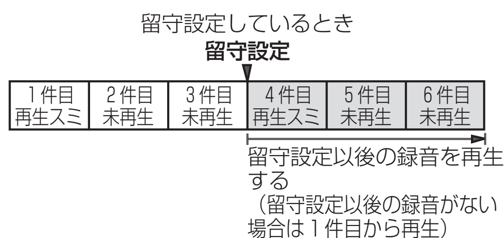
操作内容	リモート操作番号
録音内容を聞くには	1 #
早聞きや遅聞きをするには	再生中に 1 #（早聞き）→ 1 #（遅聞き）→ 1 #（元に戻る）
今聞いている録音内容を聞き直すには	再生中に 3 #
今聞いている録音内容の１件前を聞くには	再生中に 3 # 3 #
次の録音内容を聞くには	再生中に 4 #
止めるには	再生中に 5 #
再生済みの録音内容を消すには	停止中に 0 1 #
録音内容をすべて消すには（未再生の録音も消えます）（応答メッセージは消えません）	停止中に 0 2 #
留守を設定／解除するには	停止中に 6 #

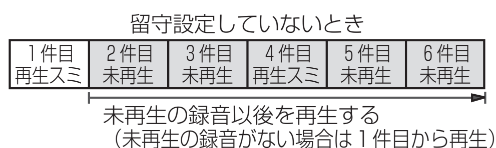
■ **暗証番号を押すときは**

- 10秒以上あいだをあけると「ピピピピ」音が聞こえます。手順３からやり直してください。
- 番号をまちがえると、「ピピピピ」音が聞こえます。正しく入れ直します。（２回まちがえると電話は切れます。）

■ **一般録音の内容を聞くときは**

留守に設定されているときに再生すると、留守設定以降に入った録音を一番古いものから順番に再生します。
留守に設定されていないときは、未再生の一番古い録音から、それ以降の録音を順番に再生します。





■ **トールセーバーとは**

外から電話して、留守録の有無を確かめることができる機能です。トールセーバーに設定すると新しい録音があるときは、呼出音が２回（新しい録音がないときは５回）で留守応答します。(留守モード時のコール回数の設定で、トールセーバーにします。105ページ)

■ **トールセーバー機能の使いかた**

呼出音が２回鳴ってもつながらないときは、新しく録音されていないことがわかります。
３回目の呼出音が聞こえたらすぐに電話を切ると通話料金がかかりません。

お知らせ

- 外出時には操作のしかたを記載した「リモート操作手順カード」をご利用ください。（259〜260ページ）
- 暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。
- 操作は１分以内に行ってください。（１分以上あけると電話が切れます。）
- ファクシミリが応答メッセージを流さないように設定しているとき（留守設定にしていないときで「在宅モード時のコール回数」（98ページ）が「無制限呼出」のときなど）はリモート操作できません。

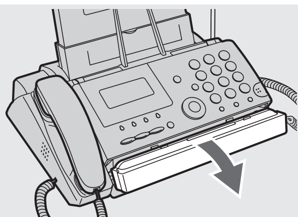


ハンドコピーを使ってファクスを送る

ハンドコピーで読み取ったファクスを送るときの操作です。相手とお話し中のときでも、ハンドコピーで読み取ったあと、そのままファクスで送ることができます。

ハンドコピーでファクスを送る

1 ハンドコピーを本体から取り外す（79ページ）



2 読み取る前の設定をする（80～81ページ）

●メモリーコピーを「スル」に設定してください。

3 ハンドコピーで読み取る（82～83ページ）の手順１～５を操作する

●読み取ったデータを書き込み終えると、自動的にプリントを開始します。「ハンドコピー後の送信方法選択」（102～103ページ）で「コピーシナイ」に設定していると、自動プリントしません。
●コピーボタンを押すたびに読み取ったデータがプリントできます。

4 プリントが終わったら、ハンドコピーを外したまま
受話器を取る

5 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

●受話器を取ったあと、電話帳を使ってダイヤルすることもできます。（55ページ）

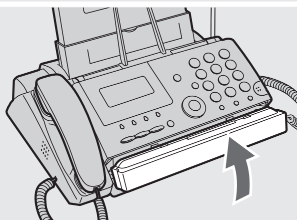
次ページへ→

→つづき

6 相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて

 **を押す**

7 ファクスを送り終わったら **ハンドコピーを本体に取り付ける（79ページ）**



●ハンドコピーを取り付けると、ディスプレイに「メモリーヲ　ショウキョ　シマシタ」と表示され、読み取ったデータが消去されます。

お知らせ

- ●メモリーコピーできるのは１件のみです。録音や応答メッセージのない状態で、A4幅で読み取ったときは、A4の長さ約1枚分で１件となります。B4幅で読み取ったときや、拡大・縮小コピーしたときはこの長さよりも短くなります。
- ●メモリー受信したデータがあるときは、ハンドコピーを使ってファクスを送ることはできません。

呼出音を鳴らさずにファクスを受ける（ノンコール着信）

ファクスが送られてきたときも、電話がかかってきたときも、いったんすべて着信したあと、電話かファクスかをファクシミリが判断します。
相手の方が自動送信でファクスを送っている（「ポーポー」音が鳴っている）とファクシミリが判断すると、呼出音を鳴らさずにファクス受信に切り替わります。
また、相手の方が電話をかけている（または手動送信している）とファクシミリが判断すると、呼出音を鳴らしてお知らせします。
ノンコール着信に設定するときは「ノンコール着信」を「アリ」にします。（112〜113ページ）
ノンコール着信に設定すると、ディスプレイに「ノンコール」と表示されます。



※ノンコール着信はファクスを受信することが多い方におすすめな機能です。
※ノンコール着信機能では、いったんすべて着信したあと、電話かファクスかを機械が自動的に判断します。そのため、他の着信方法と異なって、電話がかかるたびに、不在のときでも相手の方に 2 回呼出音が鳴ったあとから通話料金がかかり始めます。
※電話を受けることが多い方にはお勧めできません。

【実際にノンコール着信機能をお使いになる前に】
ノンコール着信の設定が完了しましたら、一度、他の電話機（携帯電話など）から、ご自宅に電話をかけて、実際にノンコール着信動作（電話または手動送信の動き）を確認しておきましょう。
ここで、確認した動作が相手側の動きとなります。

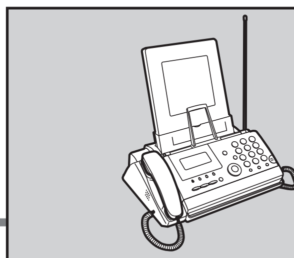
自動で送られてきたファクスをノンコールモードで受ける

相手側



ファクスを自動送信している
（ダイヤルしたあとすぐにスタートボタンを押して送ろうとしている）

こちら側



呼出音は鳴らさずにファクス受信が始まる

■ **自動送信とは**
ファクスを送るときに、ダイヤルしたあとすぐにスタートボタンを押してファクス送信する方法です。相手の方と話すことはできません。

■ **手動送信とは**
ファクスを送るときに、電話をかけてお話しなどをしてからスタートボタンを押してファクス送信する方法です。

■ **電話がかかってきたときの呼出音の回数を変更するときは（ノンコール時のコール回数）**
①登録ボタンと 3 1 3 を押す
②ダイヤルボタンでコール回数を 2 ケタで入力する（04〜25回）
③スタートボタンを押す
④停止ボタンを押す

■ **在宅モード時の留守録を「アリ」にするときは（112〜113ページ）**

お知らせ
- 回線の状態や相手機種によっては、相手の方が自動送信のファクスでも呼出音が鳴る場合があります。
- 増設電話機をお使いのときは、増設電話の呼出音は鳴りません。また、ファクスの親機・子機の呼出音が鳴っている間に増設電話の受話器を上げても、通話できません。
- 留守設定されているとき、ノンコール着信は働きません。
- ノンコール着信が設定されているときは、ファクス受信の終了音も鳴りません。
- ノンコール着信を設定しているときは子機の優先呼出は働きません。

電話または手動で送られてきたファクスをノンコールモードで受ける

※ノンコールモード時のコール回数が７回（工場出荷時）のときの動作です。

相手側

電話をかけている
（電話をかけたあとファクスを送ろうとしている）

呼出音が２回聞こえます。

このあともう一度通常よりやや高い音で「プルプル…」と呼出音が鳴る

プルプル（１回目）
⋮
プルプル（４回目）

この呼出音が流れ始める約２秒前から、相手の方に電話料金がかかります。

プルプル（５回目）
⋮
プルプル（７回目）

数回の呼出音が鳴ったあと固定応答メッセージが聞こえます。

「ただ今近くにおりません。電話の方は、恐れ入りますがのち程おかけ直しください。ファクスを送られる方はスタートボタンを押してください。」

応答メッセージの内容は変わります。（下表参照）

こちら側

呼出音は鳴らない

呼出音が鳴る

プルル（１回目）
プルル（２回目）
プルル（３回目）
プルル（４回目）
⋮
プルル（７回目）

相手側で固定応答メッセージが流れている間、こちら側では呼出音が鳴ります。

呼出音が鳴っている間に受話器を取ると通話できます。



このあとファクスを受けるときはスタートボタンを押します。

在宅モード時の留守録が「アリ」のとき

相手側	こちら側
録音するメッセージを話す	**録音が始まる**
スタートボタンを押す	**ファクス受信が始まる**

固定応答メッセージの内容は変わります。

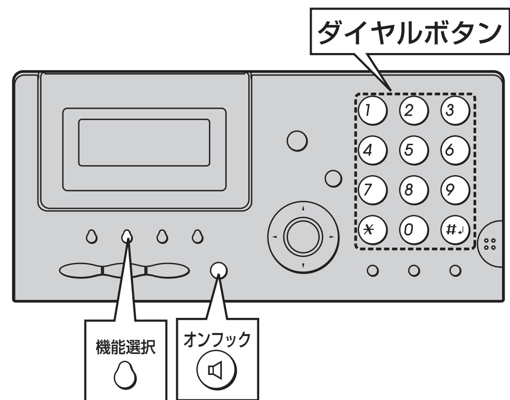
ファクス受信も、録音もできるとき（在宅モード時の留守録「アリ」のとき）	固定応答メッセージの内容 「ただ今近くにおりません。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。」
ファクス受信はできないが、録音はできるとき（在宅モード時の留守録「アリ」のとき）	呼出音が鳴り（10回）、「ただ今近くにおりません。ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。」
ファクス受信も、録音もできないとき	呼出音が鳴り（25回）、「ただ今近くにおりません。恐れ入りますがのち程おかけ直しください。」（３回流れます。） ※ただし、リモート操作（125〜127ページ）のための暗証番号が登録されていないと応答しません。



こちら側の操作でファクスを受ける（ポーリング受信）

相手の方のファクシミリにセットされている原稿を、こちら側の操作で取り出したり、FAX情報を取り出したりすることができます。





ポーリング受信する

受話器を置いたまま、原稿をセットせずに操作します。

1 機能選択 7 と押す

```
3月 1日 9:00AM
ポ ーリンク゛ モート゛
ACR
```

●ディスプレイに「ポーリング　モード」と表示されて、ポーリングモードに切り替わります。

2 オンフック を押す

```
オンフック ダ゛イヤルモート゛
ACR
```

3 ダイヤルする

4 「ピー」という音が聞こえたら
自動的に受信が始まる

●自動的に受信が始まらないときは、スタートボタンを押します。

■ FAX情報を取り出すときは

サービスによっては、ポーリングモードを使わずに受信するタイプのものもあります。
また、サービスによって操作の異なる場合がありますので、各種サービスの音声ガイダンスや説明書にしたがって操作してください。
ダイヤル回線ご利用のときは、プッシュホン回線（トーン）に切り替えて操作してください。（117ページ）

■ 途中でやめるときは

ダイヤル中は、オンフックボタンを押します。
受信中は、停止ボタンを押します。

お知らせ

- ●相手の方のファクシミリによってはご利用になれないことがあります。
- ●このファクシミリは相手の方の操作では、こちらの原稿を自動的に送ること（ポーリング送信）はできません。
- ●情報サービスの提供先や種類によっては、季節や時刻によりサービスを行っていないことがあります。取り出せないときは、各サービス提供先にお問い合わせください。

キャッチホンサービスを利用する

キャッチホンサービスを利用するには、NTTとの契約が必要です。

親機でキャッチホンサービスを使う

1 通話中に呼出音が聞こえたら
キャッチ/消去/応答 **を押す**

40″
キャッチ
ACR

2 もとの通話に戻るときは
もう一度
キャッチ/消去/応答 **を押す**

●キャッチホン・ディスプレイサービス（218～219ページ）を契約しているときは、相手の方の電話番号と名前が表示されます。

子機でキャッチホンサービスを使う

1 通話中に呼出音が聞こえたら
カナ/キャッチ **を押す**

2 もとの通話に戻るときは
もう一度
カナ/キャッチ **を押す**

●キャッチホン・ディスプレイサービス（218～219ページ）を契約しているときは、相手の方の電話番号と名前が表示されます。

お知らせ

- ファクス受信中に電話がかかってくると、記録紙に線が入ったり、送受信が中断されたりすることがあります。
- 親機で通話中にキャッチホンでファクスを受信するときは、スタートボタンを押して受話器を戻さずにお待ちください。受信中に受話器を戻すと電話が切れて、もとの相手の方との通話に戻れなくなります。
- 子機で通話中にキャッチホンでファクスを受信すると電話が切れて、もとの相手の方との通話には戻れません。
- キャッチホンⅡサービスを利用すると、受信中に電話がかかってきても異常なく通信できます。なお、詳しくはNTTにお問い合わせください。
- キャッチホン・ディスプレイサービスを契約すると、呼出音が鳴ると同時にディスプレイに相手の方の電話番号などが表示されます。（218～219ページ）



子機をもっと便利に使う

子機をもっと便利に使うための登録・設定をすることができます。

子機で設定します

設定項目	登録の操作手順
クイック通話（着信のときのみ） 子機を充電器から取り上げるだけで通話ボタンを押さなくても電話を受けることができます。	通話ボタンを消灯した状態で ▶ 機能 ▶ △ または ▽ で「クイックツウワ」を選ぶ ▶
キータッチ音出力 子機のボタンを押したときに、「ピッ」音（キータッチトーン）を鳴らします。	通話ボタンを消灯した状態で ▶ 機能 ▶ △ または ▽ で「キータッチトーン」を選ぶ ▶
待ち受け時間 充電完了後に、子機を充電器に置いていない状態で、待ち受けられる時間を長くすることができます。	通話ボタンを消灯した状態で ▶ 機能 ▶ △ または ▽ で「マチウケジカン」を選ぶ ▶

途中でやめるとき
切ボタンを押す

工場出荷時は　　　に設定されています。

	はたらき
▶ 機能 ▶ ◁ または ▷ で「ON」または「OFF」を選ぶ ▶ 機能	ON ：着信時に子機を充電器から取り上げるだけで、すぐに通話できます。 OFF：子機を充電器から取り上げたあと、通話ボタンを押してから通話します。
▶ 機能 ▶ ◁ または ▷ で「ON」または「OFF」を選ぶ ▶ 機能	ON ：子機のボタンを押したときに「ピッ」音（キータッチトーン）が鳴ります。 OFF：「ピッ」音（キータッチトーン）は鳴りません。
▶ 機能 ▶ △ または ▽ で「ヒョウジュン」または「チョウジカン」を選ぶ ▶ 機能	ヒョウジュン　：待ち受け時間は約200時間になります。 チョウジカン　：待ち受け時間は約240時間になります。 （「チョウジカン」にすると「ヒョウジュン」のときよりも子機の呼出音が遅れて鳴ることがあります。） 待ち受け時間とは充電完了後に子機を充電器に置かずに一度も通話しない状態で待ち受けられる時間です。通話したり呼出音が鳴ったりすると待ち受け時間は短くなります。

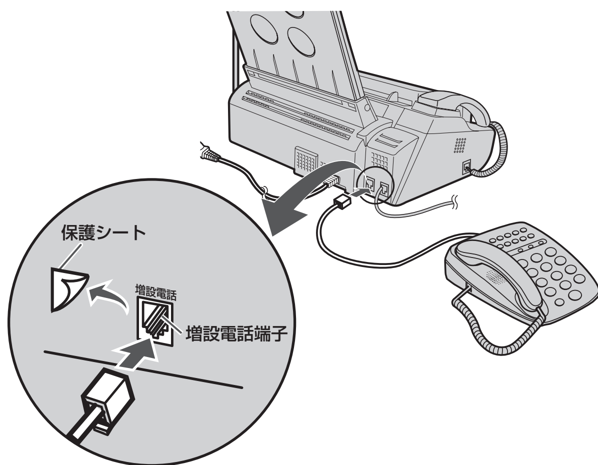
増設電話機を使う

お手持ちの電話機を増設電話機として接続することができます。
増設電話機を接続しておくと停電のときでも、電話をかけたり、受けたりすることができます。

増設電話を接続する

1 増設電話端子に接続する

●保護シートをはがし、電話機の接続コードを、本体の増設電話端子（左側の端子部）に「カチッ」と音がするまで差し込みます。



増設電話機で電話をかける

1 受話器を取る

2 「ツー」という音が聞こえたら **ダイヤルする**

●通話が終わったら受話器を戻します。

増設電話機で電話を受ける

1 呼出音が鳴ったら **受話器を取ってお話しする**

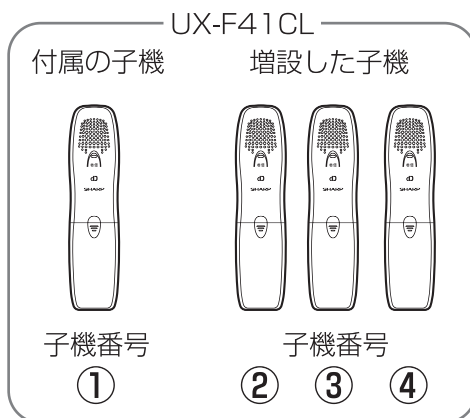
●通話が終わったら受話器を戻します。

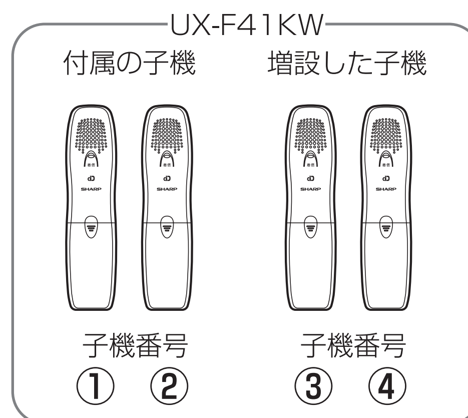
お知らせ

- ●ファクシミリ本体と増設電話機との間で、内線通話はできません。
- ●増設端子には、電話機を１台しか接続できません。また、コードレス電話機は接続できません。
- ●電話機の種類（留守番電話やホームテレホンなど）によっては、接続できないものや一部機能が使えなくなることがあります。
- ●増設電話端子に、ＡＣＲ機能付電話機を接続するときは、増設電話機側でＡＣＲ機能が働かないように設定してください。それぞれの電話機でＡＣＲデータの受信ができなくなり、ＡＣＲ機能が正しく働かなくなります。
- ●ナンバー・ディスプレイ対応の増設電話機を接続するときは、増設電話機側のナンバー・ディスプレイ機能を働かないように設定してください。誤動作の原因になります。
- ●ファクシミリ本体でノンコール着信を設定しているときは、増設電話機の呼出音は鳴りません。（通話もできません。）
- ●増設電話機では、ＡＣＲ機能はご利用できません。スーパーＡＣＲ2をご利用の方は、ファクシミリの親機または子機をお使いください。

子機を増設して使う（増設子機）

子機を増設すると子機を呼び出すときの子機番号は次のようになります





● 子機は、付属の子機以外に UX-F41CLは 3 台まで、UX-F41KWは 2 台まで増設することができます。

UX-F41CLでは子機を増設しても、子機間通話はできません。

● 増設できる子機はCJ-KS5、CJ-KS3、CJ-KS2、CJ-KS1です。また、BS／CSチューナー用コードレス通信ユニット（CJ-KBS1）が増設できます。他の子機は増設できませんのでご注意ください。

● 増設子機の登録方法は、別売の増設子機に付属している登録手順説明書をごらんください。（増設登録手順タイプＡと記載されています。）

● 子機を増設したときは、操作が異なりますので、くわしくは増設子機の取扱説明書をごらんください。

●UX-F41CL/KWに増設した場合の機能比較

	機種名／機能名	CJ-KS5	CJ-KS3	CJ-KS2	CJ-KS1	この取扱説明書の参照ページ
電話機能	電話帳機能	○（100人）	○（100人）	×※1	×※1	57〜63
電話機能	再ダイヤル	○（10件）	○（３件）	○	○	66
電話機能	着メロ作曲機能	○	○	×	×	118〜124
電話機能	ダイヤルボタン点灯	○	×	○	○	——
電話機能	ホットラインダイヤル	○	○	×	×	64
電話機能	優先呼出	○	○	×	×	48
電話機能	モーニングコール	○	○	×	×	116
電話機能	子機間ひと声通知（UX-F41CLのみ）※２	○	○	○	○	138
電話機能	子機間通話（UX-F41KWのみ）	○	○	○	○	69
電話機能	受話音量切換	特大・標準	特大・標準	大・標準	大・標準	31
電話機能	スピーカーホン通話	○	×	×	×	50、51
ナンバーディスプレイ関連	番号・名前表示	○	○	×	×	196〜197
ナンバーディスプレイ関連	私だけコール	○	○	○	○	215〜217
ナンバーディスプレイ関連	着信記録	○	○	×	×	202
ナンバーディスプレイ関連	着信鳴り分け	○	○	×	×	211
ACR関連	通話料金のお知らせ	○	○	×	×	164

※１　短縮ダイヤルとして、10件まで記憶させることができます。
※２　UX-F41CLに子機増設時

お知らせ

●UX-F41CLをご利用時は子機を増設しても、子機間通話はできません。ひと声通知の機能が使えます。
●UX-F41KWをご利用時は子機間通話ができます。

子機から子機へメッセージを伝える（子機間ひと声通知）

UX-F41CLをご利用時に子機を増設すると子機から子機へメッセージを伝えることができます。
（呼び出された方の声は、呼び出した方には聞こえません。また、約10秒間で自動的に切れます。）

子機から子機へメッセージを伝える(UX-F41CLご利用時に子機を増設したとき)

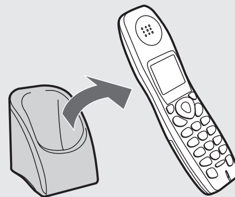
途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 子機
子機を充電器から取って
内線/クリア（保留） **を押す**

2 子機
子機の内線番号を押す

- 通話ボタンが点滅します。
- 他の子機の方が電話に出るまで「ププププ・・・・」と鳴ります。

3 他の子機
呼出音が鳴ったら、
充電器から取る



- 充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。
- 通話ボタンが点滅します。

4 子機
他の子機の方が電話に出たら、メッセージを伝える（約10秒以内）



- 他の子機の方からの声は聞こえません。

5 他の子機
メッセージが聞こえる



6 子機
メッセージを話し終わったら
（切） **を押す**

- この操作をしなくても約10秒後には自動的に電話は切れます。

子機から子機へ転送する（ひと声転送）

UX-F41CLに子機を増設してお使いの際は、子機にかかってきた電話を他の子機へ転送するときに、ひと声だけメッセージを伝えることができます。
（転送された方の声は、転送した方には聞こえません。また、約10秒間で自動的に転送されます。）

子機から他の子機へ転送する(ひと声転送)(UX-F41CLご利用時に子機を増設したとき)

1 子機

子機で通話中に
内線/クリア 保留 **を押す**

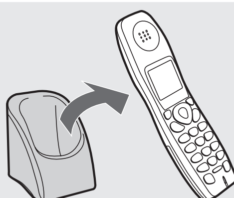
2 子機

子機の内線番号を押す

●相手の方には保留メロディが流れます。
●他の子機の方が電話に出るまで「ププププ・・・・」と鳴ります。

3 他の子機

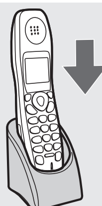
呼出音が鳴ったら、
充電器から取る



●充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。
●通話ボタンが点灯します。

4 子機

電話を転送することを伝えて（約10秒以内に）
子機を充電器に戻す



●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。
●相手の方の子機からの声はこちら側には聞こえません。
●この操作をしなくても約10秒後には自動的に転送されます。

5 他の子機

保留メロディが聞こえたら、
通話 **を押す**
または 内線/クリア 保留 **を押す**

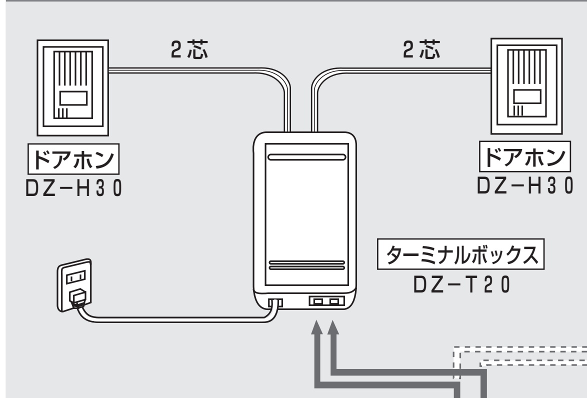
●外の相手の方と通話できます。

■ **他の子機が出ないときは**
保留ボタンを押すと、呼び出しをやめて保留になります。このあと保留ボタンまたは通話ボタンを押すと外の相手の方との通話に戻ります。

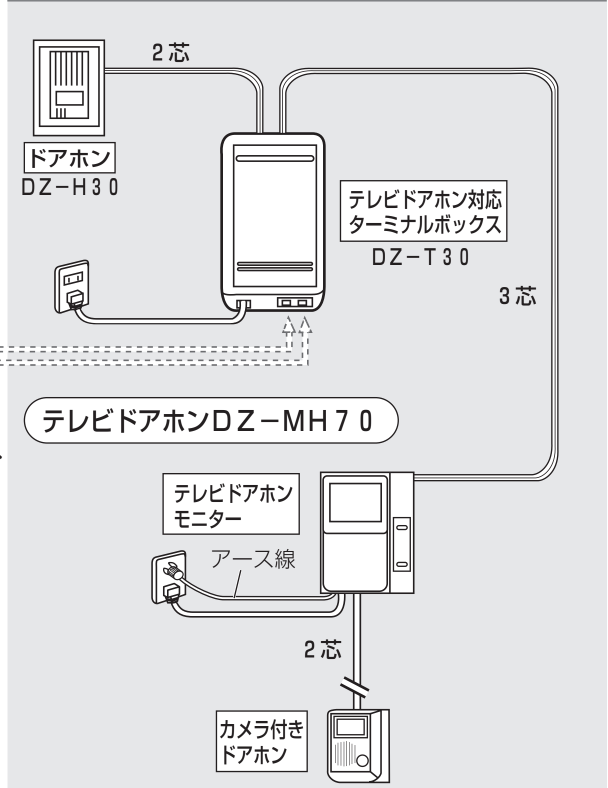
ドアホンを接続する

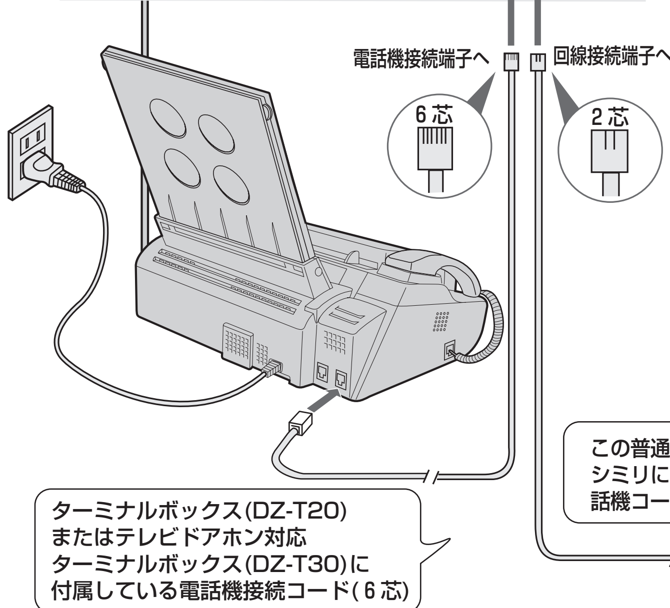
別売りのターミナルボックス（専用）やドアホン（テレビドアホンユニット）を取り付けると、ドアホン通話することができます。
詳しい接続方法は、それぞれの機器の取扱説明書をごらんください。

ドアホンをつなぐとき



カメラ付ドアホンをつなぐとき





お知らせ

- テレビドアホンユニットは、DZ-MH70が接続できます。
- テレビドアホンユニットを取り付けるときは、必ずテレビドアホン対応ターミナルボックス（DZ-T30）をお使いください。
- 現在お使いのドアホンが次の機種のときは、専用ドアホン（DZ-H30）をお求めにならなくても、そのままお使いいただけます。（ターミナルボックスDZ-T20またはDZ-T30は必要です。）

メーカー名（50音順）	適合するドアホン（室外機の機種名） 2000年11月現在
アイホン	IF-DA IE-DA IE-DC IE-NC IE-RA IE-TAS IE-JA IE-CA IF-DAW IE-NXS IE-NXBA IE-NXM IE-NXY IE-NXC
岩通	ドアホンN
NTT	E-104DH E-ドアホンS E-ドアホンD E-ドアホンPL E-VXドアホン
パイオニア	TF-DR2
富士通	FC-201A FC-201B FC-201C FC-201D
松下通信工業	VF-521 VF-522 VF-523U VF-523D VL-568 VL-568G VL-568U VL-568K VL-568KA VL-568D VL-568R VL-568S VL-568KAP VL-568GL VL-568UL VL-569 VL-580D VL-582A VL-584D VL-585D VL-586P VL-587P VL-592 VL-593 VL-594A
松下電工	EJ-502 EJ-501W EJ-102 EJ-503F EJ-503A EJ-106A EJ-106S EJ-1021B

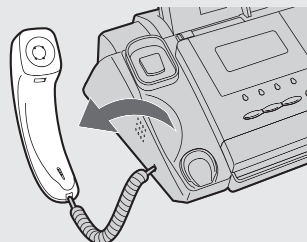
※チャイム（室外と室内とで会話できないもの）は適合しません

ドアホンと話す（ドアホン通話）

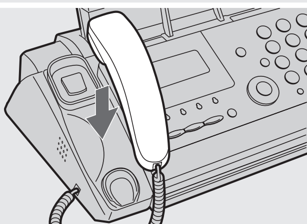
親機、子機のどちらでも、ドアホンを押された方とお話しすることができます。

親機で話すときは

1 呼出音が「ピンポン」と鳴ったら、ディスプレイに「ドアホン　チャクシン　1」または「ドアホン　チャクシン　2」と表示している間（30秒以内）に
受話器を取って通話する



2 通話が終わったら
受話器を戻す



子機で話すときは

1 呼出音が「ピロピロピロピロ」と鳴ったら通話ボタンが点滅している間（30秒以内）に



を押す

●通話ボタンが点灯します。

2 通話が終わったら



を押す

■ **ドアホンの呼出音について**

ドアホン１とドアホン２からの呼出音は鳴り方が違います。

親機	ドアホン１	ピン　ポン
	ドアホン２	ピン　ポン　ピン　ポン
子機	ドアホン１	ピロ ピロ ピロ ピロ　ピロ ピロ ピロ ピロ
	ドアホン２	ピロ ピロ　ピロ ピロ　ピロ ピロ

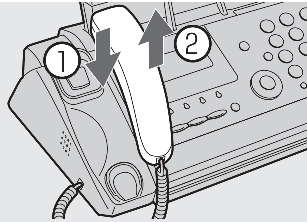
お知らせ

●親機または子機からドアホンを呼び出すことはできません。
●ドアホン通話の保留はできません。
●留守録に設定していても、ドアホンからの録音はできません。
●ファクス送受信中は、ドアホンからの呼び出しがあっても子機の呼出音は鳴りません。この場合、子機で通話することもできません。また、ファクス送受信中でも親機の呼出音は鳴りますが、受話器を取っても通話はできません。
●ドアホンの呼出音が「ピンポン」と鳴ったあと約30秒以上ドアホンとの通話に出なかったときは、ドアホンと通話できません。
●増設電話機が接続されていても増設電話機では、お話しすることはできません。（呼出音も鳴りません。）
●ドアホン通話を親機や子機へ転送することはできません。

親機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

1 電話の呼出音が聞こえたら
一度、受話器を戻してから、受話器を取る



●受話器を戻すと、ドアホン通話が切れます。
●受話器を取ると、かかってきた電話との通話になります。

親機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に
内線/保留 **を押す**

●通話中の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホンの相手とドアホン通話ができます。

2 電話の相手の方との通話に戻るときは
内線/保留 **を押す**

●電話の相手の方との通話に戻ると、ドアホン通話は切れます。

親機でドアホン通話中にもう１台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう１台のドアホンとの通話ができます。

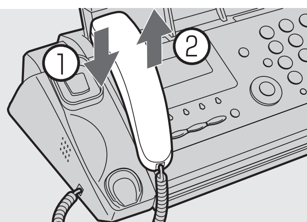
1 ドアホンの呼出音が「ピンポン」と１回聞こえたときは
1 **を押す**
ドアホンの呼出音が「ピンポン、ピンポン」と続けて２回聞こえたときは
2 **を押す**

● **1 または 2（またはキャッチボタン）を押すごとに、２台のドアホンの方と交互にお話しができます。**

親機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に
一度、受話器を戻してから、受話器を取る



●受話器を戻すと、内線通話が切れます。
●受話器を取ると、ドアホン通話になります。

子機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

1 電話の呼出音が聞こえたら
切 **を押して、** 通話 **を押す**

●切ボタンを押すと、ドアホン通話が切れます。
●通話ボタンを押すと、かかってきた電話との通話になります。

子機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に
内線/クリア 保留 **を押す**

●通話中の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホンの相手とドアホン通話ができます。

2 電話の相手の方との通話に戻るときは
内線/クリア 保留 **を２回押す**

●電話の相手の方との通話に戻ると、ドアホン通話は切れます。

子機でドアホン通話中にもう１台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう１台のドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が「ピンポン」と１回聞こえたときは
1ア **を押す**
ドアホンの呼出音が「ピンポン、ピンポン」と続けて２回聞こえたときは
2カABC **を押す**

● **1ア または 2カABC（またはキャッチボタン）を押すごとに、２台のドアホンの方と交互にお話しができます。**

子機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に
切 **を押して、** 通話 **を押す**

●切ボタンを押すと、内線通話が切れます。
●通話ボタンを押すと、ドアホン通話になります。